

令和 8 年度 足立区大谷田グループホーム地域連携推進会議

開催日時	令和 8 年 9 月 30 日（水）14 時 00 分～15 時 00 分
開催場所	足立区大谷田グループホーム
会議参加者	ご利用者代表 1 名・ご家族代表 1 名、地域の関係者の方 1 名、 足立区障がい福祉課職員 1 名、福祉に知見のある方 1 名、 足立区大谷田グループホーム施設長・サービス管理責任者・支援員 各 1 名
【議題】	
1 地域連携推進会議の開催にあたり （１）目的 ○地域連携推進会議の目的と背景 グループホームと入所施設の運営において地域連携が義務付けられている。目的はご利用者と地域との関係作り、地域の人への施設等や利用者に関する理解促進、サービスの透明性・質の確保、利用者の権利擁護。これらの目的のため定期的な会議開催が求められており、昨年度から発足した。 （２）地域連携推進員（会議メンバー） 会議の構成員には利用者、利用者家族、地域関係者、福祉・経営の知見者、市区町村担当者が含まれる。 ○参加者の自己紹介	
2 事業所と地域の連携（利用者と地域との関係づくり）について （１）足立区大谷田グループホームについて（画像紹介） ○足立区大谷田グループホームの紹介 ※スライドによる説明 ・足立区大谷田障がい福祉施設の 3 階に位置し、定員 7 名。短期体験コース（3 ヶ月）と自立生活訓練コース（1 年）がある。最長 3 年の期限付きグループホーム。現在は 4 名が利用中。 ・知的障がい者のグループホームでは生活支援として、食事、掃除、洗濯、健康管理、金銭管理、服薬支援等を行っている。加えて大谷田グループホームは体験・訓練の場として位置づけられている点が特徴である。 ・日課は 6 時起床、朝食。日中はそれぞれの就労先・通所先で過ごされ、帰寮後は入浴や洗濯の後 18 時に夕食。食事は調理提供。19 時以降は個別支援としてそれぞれつけている小遣い帳の確認を毎日行っている。学習会や個別の相談の時間を取ることもある。20 時以降は各自の居室で過ごされ、21 時に消灯。 ○大谷田グループホームの運営状況について。 生活訓練としては掃除、洗濯、衣替え等を行っている。また、学習会を開催することもあり様々なテーマでご利用者同士が学び合う機会を作っている。余暇支援やスキルアップのため、ヨガ教室やテイクアウトのイベント、調理実習といった様々な行事を開催している。避難訓練は 1 年に数回実施。	

(2) 地域との交流・地域行事等について

○地域との交流・地域行事

- ・地域清掃や自治会のお祭りに参加している。来月のお祭りにも出店や神輿で参加予定。

3 サービスの透明性及びサービスの質の確保について

(1) 利用者の日常生活について

○ご利用者インタビューの紹介（動画）

○グループホーム利用者の感想

- ・入る前は皆と上手くやっていけるか分からなかったが、今のメンバーとはとても上手くいっていると感じている。
- ・グループホームの生活で楽しかったことは、調理実習を通して料理ができるようになったこと。買い物から調理まで経験することができている。
- ・現在のグループホームの生活にはとても満足している。今後はできれば大谷田グループホームを卒業した後に入るグループホームの体験に 1 週間くらい行ってみたい。

4 利用者の権利擁護について

(1) 権利擁護・虐待防止への取り組みについて

- ・昨年度、事業所内で実施した様々な研修に使用した資料の紹介。虐待防止、意思決定支援、障がい理解、身体拘束について等、職員を対象として様々なテーマで研修を実施している。また、職員行動規範セルフチェックリストを活用し、職員が自身の利用者支援について振り返る機会を設けている。チェックリストの内容から改善が必要とされる部分については研修の内容に取り入れることもある。
- ・当法人のグループホームは 20 ユニットあり、全職員が一同に会して研修を受けることは困難であるため、毎月 3 日間に分けて全世話人を対象に会議・研修を実施している。

(2) 第三者評価の結果報告について

○第三者評価の結果報告

- ・足立区大谷田グループホームとして令和 6 年度に第三者評価を受審
- ・評価された点：体験型グループホームとしての日常生活プログラムの充実、虐待防止の取り組み
- ・改善が望まれる点：重度利用者の受け入れ、グループホームの情報発信
- ・改善への取り組み：重度利用者の短期受け入れ実施、SNS や広報誌を活用した情報発信の強化
- ・次回の第三者評価は令和 9 年度中に受審するため、上記の取り組みについて今後一層改善していく。

5 事業所内の見学

3 階の足立区大谷田グループホームの見学

- 3 階（利用者居室、世話人室、リビング、洗濯室、ベランダ等）の見学を実施。

※見学の際には、利用者へ実際に過ごしている感想を聞いた。

6 意見交換等について

○ご家族より

入寮前は不安そうな様子が多く見られていたが、半年が経過して安心して過ごしている様子を感じられている。

○福祉に知見のある方より

- ・ 日常的なプログラムの充実度や利用者含めての勉強会が良い環境だと感じた。個別の生活がメインになると利用者同士集まる機会がないため、このような行事を通して交流を持てる点が魅力的だと感じる。

- ・ 私自身施設長を務めている中で広報に関しても難しく感じることもあるが、グループホームの掲示板の活用等を自施設でも取り入れていきたい。

○足立区障がい福祉課職員より

質問) 行事が多く感じるが、他のグループホームよりも多く実施しているのか。

回答) 期限付きで体験や訓練の場であるという特性上、様々な行事を実施している。また、他のグループホームでの活動内容を取り入れることもある。これまでは学習という要素が強い行事が多かったが、今年度は法人内のグループホームで行っている行事の体験として、バス外出に大谷田グループホームのご利用者も参加される予定。

○地域の関係者より

・ 掲示物について

地元自治会より様々なお知らせが来るが、大谷田グループホームにそれらのお知らせを配付することがあまりなかった。掲示板があると分かったので、これから配付していければと思う。

・ ご利用者の安全管理について

質問) 最近災害が頻発しているが、水害等の影響で職場やグループホームまでたどり着けないということもあるのか。

回答) 各ご利用者携帯電話を持っているため、安否確認のため連絡を取り合っている。利用者が利用している路線や通勤ルートを職員も把握しておく必要がある。最近も電車が運転見合わせになり、普段とは異なるルートで帰寮されたこともあった。

以上